

# 小学校英語 必修化の手順を考える

旭川市立日章小学校  
小山 俊 英

# 答申の4ポイント

- 5年生から開始する
- 聞く・話す活動を中心にして
- 学級担任が進める授業
- 評価はしない

# 必修化・・・「必修化だからやればいい」 という考えでは・・・

必修化とは「最も幅のある導入」の仕方

「始める前にかける  
時間は充分すぎ  
るほどがちょうど  
いい」

限りなく「教科」に近い学習も可能であるし、また現在の  
総合的な学習の時間で行う「英語活動」も可能である

英語は中学校においては「教科」の位置づけである  
(そこが同じ必修扱いの道徳と根本的に違うところである)

英語活動を「やる・やらない」という（時代錯誤の）議論から、「どのようにやるか」の議論へ

必修化を前に学校で準備する「10のチェックリスト」



英語活動を通して育てたい子ども  
の姿(目指す子どもの姿)が設定  
されていますか？

英語活動の「ねらい」(目標・指  
標・・・)が設定されていますか？

英語活動を「やる・やらない」という（時代錯誤の）議論から、「どのようにやるか」の議論へ

必修化を前に学校で準備する「10のチェックリスト」



どのような英語活動を推進していくか、議論を終えていますか？

英語活動における「カリキュラム」の考え方が共通化されていますか？

英語活動を「やる・やらない」という（時代錯誤の）議論から、「どのようにやるか」の議論へ

必修化を前に学校で準備する「10のチェックリスト」



学年の「系統」を蓄積（記録化）できるシステムになっていますか？

1時間の英語活動の流れや基本的な手だて（Basic theory）が共通化できていますか？

英語活動を「やる・やらない」という（時代錯誤の）議論から、「どのようにやるか」の議論へ

必修化を前に学校で準備する「10のチェックリスト」



英語活動を進める中心は、学級担任であることを確認できていますか？

英語活動に必要な教材教具は、すぐ使える状態になっていますか？

英語活動を「やる・やらない」という（時代錯誤の）議論から、「どのようにやるか」の議論へ

必修化を前に学校で準備する「10のチェックリスト」



指導プランを作成する段階で、構成や手順を相談できる人（**推進者・アドバイザー**）がいますか？

英語活動研修（校内）や先進校や先行実践から学ぶ（校外）体制がつくられていますか？

# 英語活動をスタートするに あたっての3要件

**Simple**

単純化する

**Enjoyable**

指導者も愉しむ

**Mimicry**

まず、まねてみる

英語活動を通して育てたい子どもの姿(目指す子どもの姿)が設定されていますか？

- 小学校では、**speaking/listening**で十分英語活動が成立する
- 「英語嫌いをつくらない」という消極的な発想を転換し、「英語好きな子どもをつくる」ことを目指す
- 子どもの姿は、発達段階に応じて、大きくとらえることが肝心

# 英語活動の「ねらい」(目標・指標・…)が設定されていますか？

- たくさんつくりすぎないこと
- スキルは、学ぶうちに身についていく(そこを目標化しないほうがいい)。むしろ子どもの内面に目を向けて、「進んで(主体的に)…」など大きくとらえたほうがいい  
(教科と異なり、具体的な目標をかかげる必要はない)
- **Positive Attitude**(積極的な態度)…教師にも子どもにも必要な資質

# どのような英語活動を推進していくか、議論を終えていますか？

「教科性」を色濃く反映した英語活動

英語嫌いが相変わらず多い  
中学校の前倒しでは？  
ALTにお任せが多い

「楽しく」…というコンセプトのもと英語活動

しっかりと身につけていないのでは？  
カリキュラムがお粗末  
歌やゲームばかり…

10年先の小学校  
英語活動

今、どのような英語活動を創造しなければならぬか？

中学校との  
連携

# 英語活動における「カリキュラム」の 考え方が共通化されていますか？

## ソフト・カリキュラム

「**題材一覧表的な  
カリキュラム**」

国際理解教育の単元・児童  
のニーズに対応可能

## ハード・カリキュラム

**月別・学年別の指導計  
画を立案し、取り扱う  
言語材料も含む**

安心して系統的な指導が可能

学年の「系統」を蓄積(記録化)できるシステムになっていますか？

- ソフト・カリキュラムの場合の課題です。しかし、それを克服して系統性のある英語活動を実践している学校がいくつもあります。そういった先行実践から学ぶことでシステムはあまり難しくなく構築できると思います。

# 1時間の英語活動の流れや基本的な手だて (**Basic theory**) が共通化できていますか？

- (1) 指導方法を共有化するということは最高の取組ですが、そこまで行かなくとも、学校として
- (ア) 英語活動の流れ【**warm up Input Intake Output 等**】
  - (イ) それぞれの段階における基本的な手だて(=**原則**)
- を共通化しておくだけで英語活動は見違えるほど変わります。

英語活動を進める中心は、学級担任  
であることを確認できていますか？



# 英語活動に必要な教材教具は、すぐ使える状態になっていますか？

(1) 指導方法や考え方が共通化していると教材や教具を蓄積し、使い回しすることができます。

そうすることで**教具づくり**の時間を大量に省くことができます。

スタート時点では様々な準備が大変ですが、**三年後・五年後**を視野に入れて少しずつ準備を進めることが大切です。

# 指導プランを作成する段階で、構成や手順を相談できる人(推進者・アドバイザー)がいますか？

(1) 新しいものが学校現場に入ってきたときには、

(1) あわてず

(2) 確実に

(3) みんなで

(4) 見通しを持って

取り組むことが大切です。

**英語活動研修(校内)や先進校や  
先行実践から学ぶ(校外)体制が  
つくられていますか？**

- 校長や研究部の理解を得ながら、  
最新の情報を得てそれを学校に還  
流するという流れをとれば、質的  
な向上が期待できます。**

**Thank you!**